

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2~21	日本史	22~39
世界史	40~55	地理	56~65
数 学	66		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学については以下の注意事項も参照すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

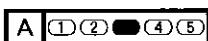
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

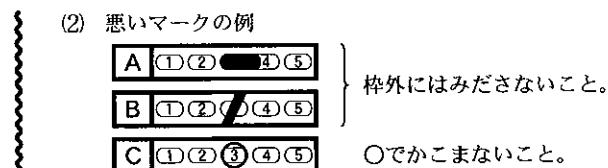
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

- (1) 正しいマークの例



- (2) 悪いマークの例



2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世 界 史)

[I] 1920 年代から 30 年代にかけてのアメリカの台頭と大恐慌に関する次の文章を読み、下記の問いに答えよ。

第一次世界大戦後、アメリカは国際社会における存在感を格段に高めることとなつたが、その背景には複数の要因が作用していた。第一に、アメリカが第一次世界大戦を通じて債務国から債権国へと転じ、国際金融市场で中心的な位置を占めるに至つたことは、大きな意味を持った。アメリカは第一次世界大戦中に、連合国に対して軍需品と借款を提供し、連合国の戦時経済を支えた。また終戦後に、イギリスやフランスなどが約 120 億ドルにものぼる戦債の返済免除を求めるに、アメリカはそれを拒否し、あくまで返済を求めた。そこで、戦争で経済が疲弊しきっていたヨーロッパの連合諸国は、戦債の返済に [1] で定められたドイツからの賠償金をあてようとした。するとアメリカは、自国資本をドイツに貸与することなどを骨子とした [2] をドイツの新賠償方式として [A] 年に成立させ、その後 1929 年にも、ドイツの賠償総額を削減し、支払い期間を延ばす [3] を成立させた。こうしてアメリカは自国の経済力を梃子に、ヨーロッパの連合諸国に対する発言力を拡大したのである。

第二に、アメリカが軍事力を徐々に増大させていたことも、同国の国際社会における存在感を増す要因となった。アメリカは、第一次世界大戦で 200 万人を超える兵員を国外に送り出し、連合国側の勝利に貢献したので、その軍事力は、大戦の帰趨を左右したものとして、広く世界に認められこととなった。このような背景の下、アメリカが主導する形で [B] 年から 1922 年にかけてワシントン会議が開催され、海軍軍備制限条約、[4] (a) 九カ国条約からなるワシントン体制が成立した。

そして第三に、アメリカの金融面および軍事面におけるパワーの増大を下支えしていた同国の経済発展を、重大な要因として挙げなければならない。アメリカでは、自動車、化学、電気産業といった新たな産業が勃興した。1921 年から 3

代にわたって共和党から選出された大統領たちは、大企業を重視する経済政策と、国内市場を守る 5 政策を展開した。

また企業の側においても、6・システムの名で知られる大量生産方式を生み出した。大量生産と大量消費の時代が到来したといわれるのも、まさにこの時期である。こうした大規模な生産様式を支える労働力を確保すべく、アメリカ政府はかねてから移民受け入れの奨励策をとっていたが、産業の合理化・機械化が進められるにつれ、労働力過剰の状況が出現した。その結果、低廉な移民労働力を排斥する動きが広がり、移民数を制限し、7系の移民割り当てを著しく抑え、さらには8からの移民を禁止することなどを内容とした移民法が1924年に連邦議会で可決された。またこの時期には、9とよばれるアングロ・サクソン系の白人中産階級を中心に保守主義の傾向が強まった。

ところでC年に大統領に就任したフーヴァーは、演説で「10」という言葉を使って1920年代を通じて発展し続けたアメリカ経済の先行きを語つたが、大恐慌が発生し、アメリカの政治・経済は大きな転機を迎えるのである。同年10月のニューヨーク株式市場での株価暴落から始まった恐慌は、世界に波及した。フーヴァーは、関税によって農産物価格を引き上げるためのスムート=ホーリー法を1930年に成立させたり、またD年には11の1年間停止を内容とするフーヴァー=モラトリアルを宣言したりしたが、恐慌はおさまらなかった。

アメリカの共和党政権による保護主義的な政策は、他国にも波及し、世界的な貿易取引の縮小を引き起こすこととなった。たとえばイギリスは、1932年に12を開催して、イギリス本国と自治領間で協定を結んで、いわゆる13を構築した。フランスも同様に、植民地や友好国などとフラン通貨圏を形成した。そしてやがてアメリカも、ラテンアメリカ諸国をドル経済圏に組み入れる動きを進めていくことになる。こうした一連の動きは、本国と植民地、自治領、勢力範囲を14制度で結びつけ、第三国による通商上のアクセスを阻害するブロック経済の形成を助長した。当時台頭しつつあった日本、ドイツ、イタリアなどは、ブロック圏諸国との通商を阻まれ、やがて力で市場を手に入れ思惑を強めることになる。

国内外で発生した深刻な事態を共和党政権は打開できないとみたアメリカの有権者は、民主党候補フランクリン・ルーズベルトを第32代大統領に選出した。E 年に大統領に就任したルーズベルトは、まず金融対策として緊急金融法を成立させ、健全な銀行に限って政府の権限で営業を認めるという政策をとった。農業対策では、生産を調整して生産物価格を引き上げようとする 15 法を成立させた。産業対策についても、企業の生産を規制するとともに企業に適正な利潤を確保させ、労働者の団結権や団体交渉権を認めて適正賃金の確保をはからせる法律を成立させた。その後、1935年に成立した 16 法は、労働者の団結権と団体交渉権を改めて保障する内容となった。その結果、労働組合も発展し、アメリカ労働総同盟(AFL)内で未熟練労働者を中心に 17 が組織された。これら一連の恐慌克服策は、それまでの自由放任に代わって、国家が経済に積極的に介入して景気や国民生活を立て直そうとするものであった。

またルーズベルト政権は、恐慌対策の一環として、海外における市場の開拓にも乗り出した。まずラテンアメリカ諸国に対しては、大統領の就任演説において 18 を打ち出し、非干渉主義の立場をとる方針を明らかにした。1934年にはキューバの 19 を廃止したり、ハイチやニカラグアといった国々からも撤兵したりした。その結果、ラテンアメリカ諸国へのアメリカの輸出や投資は伸びていった。また恐慌の影響を受けなかったソ連の市場にも目を向け、E 年にはソ連を承認するに至った。さらに国務長官コーデル・ハルが中心となって、歴代の共和党政権が維持していた 5 政策を見直すよううつたえ、やがて連邦議会も大統領に必要な交渉権限を与えることになった。

一方、ドイツでは国民社会主義ドイツ労働者党が急速に支持を広げ、日本でも軍部の独断的行動が目立つようになっていった。しかし、アメリカは、海外で徐々に危機が増す状況にあっても、基本的には国内の経済対策に専念するという姿勢をとることになる。1935年には、連邦議会が最初の中立法を可決して、外国の紛争に巻き込まれないための手立てを講じるのであった。

問 1 文中の空欄 から に入る西暦年を以下から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1919 b 1921 c 1924 d 1926 e 1929
f 1931 g 1932 h 1933 i 1935 j 1938

問 2 文中の空欄 から に入る語句を以下から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 ロカルノ条約 | 2 ヴェルサイユ条約 |
| 3 サン=ジェルマン条約 | 4 四力国条約 |
| 5 不戦条約 | 6 ヤング案 |
| 7 ケインズ案 | 8 ドーズ案 |
| 9 自由貿易 | 10 高関税 |
| 11 補助金 | 12 ロックフェラー |
| 13 カーネギー | 14 フォード |
| 15 北欧・アイルランド | 16 東・南欧 |
| 17 アジア | 18 アフリカ |
| 19 中東 | 20 K・K・K |
| 21 WASP | 22 レッドネック |
| 23 平和への復帰 | 24 平和の配当 |
| 25 永遠の繁栄 | |

問 3 文中の空欄 11 から 19 に入る語句を以下から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 貿易取引 | 2 対外投資 |
| 3 賠償・戦債支払い | 4 オタワ連邦会議 |
| 5 マルタ連邦会議 | 6 ロンドン連邦会議 |
| 7 為替相場 | 8 変動相場制 |
| 9 スターリング＝ブロック | 10 輸入制限 |
| 11 特恵関税 | 12 協調介入 |
| 13 農業振興 | 14 農業調整 |
| 15 農業基盤整備 | 16 ワグナー |
| 17 ローズヴェルト | 18 ヴァンデンバーグ |
| 19 産業別労働者組織委員会 | 20 職能別労働者組織委員会 |
| 21 孤立主義政策 | 22 善隣外交政策 |
| 23 干渉主義政策 | 24 ブラン修正 |
| 25 プラット条項 | 26 ジャクソン＝ヴァニク修正 |

問 4 下線(a)について、つぎのうち、この条約で定められたイギリス・アメリカ・日本・フランス・イタリアの主力艦保有比率はどれか。一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 5・4・3・1.5・1.5
- b 5・4・3・1.75・1.75
- c 5・5・3・1.67・1.67
- d 5・5・2・1.5・1.5

問 5 下線(b)について、つぎのうち、この条約の非締約国はどれか。一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a オランダ
- b ドイツ
- c ポルトガル
- d イタリア
- e ベルギー
- f イギリス

問 6 下線(c)について、つぎのうち、この時期のアメリカ社会における出来事に該当しないものはどれか。一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a サッコ・ヴァンゼッティ事件の発生
- b 公民権運動の全国化
- c 禁酒法の制定
- d 女性参政権の実現

問 7 下線(d)について、この法律の名称を漢字で解答欄に記入せよ。

問 8 下線(e)について、ローズヴェルトが実施した一連の恐慌克服策の英語名をカタカナで解答欄に記入せよ。

問 9 下線(f)について、つぎのうち、1934年以前に発生した出来事はどれか。一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ドイツによるロカルノ条約の破棄
- b ドイツによるラインラント進駐
- c 仏ソ相互援助条約の締結
- d ドイツによる国際連盟の脱退

[Ⅱ] つぎの文章を読み、下記の問い合わせに答えよ。

ネーデルラントは、古くから商業や 1 業で栄え、南部のフランドル地方の 2 は、15世紀後半以降ヨーロッパの商業・貿易の中心地となっていた。しかし、16世紀後半、ネーデルラントがスペインの支配下に入ると、ローマ教会とともに対抗 3 を推し進めていたスペイン王 4 は、5 政策を強行し、また都市に重税を課した。これに反発したネーデルラント諸侯と 6 派の商工業者は、自治権を求めてスペインに対し反抗し、オランダ独立戦争が始まった。5 の勢力が強い 7 10州(のちのベルギー)はスペインの支配下にとどまったが、8 7州は1579年に9 を結び、1581年にネーデルラント連邦共和国(オランダ)の独立を宣言した。これに対し、オランダの奪回を試みたスペインは、オランダ独立を支援していた10 を攻撃するため、1588年に11 を送るが、10 海軍に敗れ制海権を失うことになる。このような状況のもと、17世紀に入るとオランダは、12 やアメリカ大陸に進出し、貿易網を拡大していく。当時、既に海外に広大な領土を持ち 13 と呼ばれていたスペインと、14 の開拓による香辛料の直接取引で大きな利益を得ていたポルトガルは、海洋ルートを支配することで、交易を独占していた。オランダのグロティウス⁽¹⁾は、こうした海洋貿易の寡占状況に異を唱え、オランダの進出を擁護する『海洋自由論』を書いた。

以下は、『海洋自由論』からの文章である。

第一章

われわれの目的は、オランダ人すなわちネーデルランデン連邦^(注1)の臣民が、
自由に、今までどおり東インドへと航行し、⁽²⁾その地の住民と交易を行うことができるということを、簡潔明瞭に論証することである。[その際]われわれは、
A という確実かつ明白で不変の規則……を論拠とするであろう……

第五章

……ポルトガル人は(いわば)二つの世界⁽⁴⁾のあいだに横たわっている全海域の領有者と称しているようなものだ。しかしこの両世界は互いに非常に遠く隔たっていて、向うからこちらへはもう何百年ものあいだ何の知らせも聞かれなかつたほ

どなのである。もしこれにカスティーリヤ^(注2)人(彼らも同等の権利を主張している)の分け前を付け加えるならば、ほとんど、この大洋の全体が二つの民族だけの領有となり、他の数多くの国びとは北海の狭い海域に押しこめられてしまうだろう。……

第十三章

それゆえ、法と道理が、他のなんびととも同様にわれわれにとっても東インド貿易は自由であるということを要求するのである以上、次なる問題は、われわれがスペイン人と講和しようと、休戦条約を結ぼうと、また戦争をさらに続けようと、われわれが当然[=自然によって]もっているこの自由を、すべての手段を用いて維持しなければならないということである。……

注1：ネーデルラント連邦共和国(オランダ)

注2：カスティリヤ

[出典] H. グロティウス「海洋自由論」(1614年), 歴史学研究会編『世界史史料5 ヨーロッパ世界の成立と膨張』(岩波書店, 2007年)305-6頁。

問1 文中の 1 ~ 14 に入る最も適当な語を以下から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------------|----------|
| a アジア | b アフリカ |
| c アントウェルペン(アントワープ) | d イギリス |
| e インド航路 | f カール5世 |
| g カトリック | h カルヴァン |
| i ギルド | j 毛織物 |
| k 宗教改革 | l スエズ運河 |
| m 「太陽の沈まぬ国」 | n 地動説 |
| o 「七つの海を支配する国」 | p ナント |
| q 南部 | r ハンザ同盟 |
| s バルチック艦隊 | t フェリペ2世 |
| u フランス | v 北部 |
| w 無敵艦隊(アルマダ) | x 縣織物 |
| y ユトレヒト同盟 | z ルター |

問 2 以下の文のうち、下線部(1)のグロティウスについて述べたものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『愚神礼賛』を著した人文主義者で、イギリスのトマス＝モアとも親交を持っていた。
- イ 宗教紛争に巻き込まれて投獄されたが、のちにフランスに亡命して『戦争と平和の法』を書いた。
- ウ 『法の精神』を著した啓蒙思想家で、三権分立論による王権の制限を説いた。
- エ 『純粹理性批判』の著者であり、ドイツ観念論を打ち立てた。

問 3 下線部(2)に関連して述べた以下の文のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア オランダの独立は、1648年のウェストファリア条約において国際的公認を得た。
- イ アムステルダムは17世紀前半、ヨーロッパの商業・貿易の中核都市として栄えた。
- ウ バルト海貿易で富を蓄えた。
- エ 7つの州による連邦制をとり、重農主義を推し進めた。

問 4 下線部(3)に関連して述べた以下の文のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア オランダは、東インド会社(VOC)を設立し、アジアに進出した。
- イ オランダは、タイのアユタヤに商館を建て、ポルトガル人から香辛料貿易の実権を奪った。
- ウ オランダは、東アジア進出の足がかりとして香港に植民地を建設すると同時に、日本の平戸に商館をおき、大量の金を輸入した。
- エ オランダは、東インドへの航行の中継地として、スエズ湾沿岸に植民地を建設した。

問 5 A に入る最も適当な語を以下から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 十二表法 イ 万民法
ウ 反トラスト法 エ 印紙法

問 6 下線部(4)に関連して、16世紀に起きた出来事として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 香辛料の集積地として栄えたリスボンは、スペインの支配下におかれようになった。
イ 国土回復運動(レコンキスタ)が完了した。
ウ フィリピンを拠点とする、綿花とタバコの交易によって、多くの富を得た。
エ 長崎への来航は、日本側により禁止された。

問 7 下線部(5)の「二つの世界」はどの地域を指しているか、正しい組み合わせを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 15世紀末にコロンブスが到達した「新大陸」としてのアメリカと、「旧大陸」のヨーロッパ
イ 「旧大陸」のヨーロッパと、「暗黒大陸」の蔑称で呼ばれたアフリカ
ウ マルコ・ポーロの『世界の記述』(『東方見聞録』)によって黄金の国ジバングとして紹介された日本と、「新大陸」のアメリカ
エ 十字軍以降活発化した東方貿易(レヴァント貿易)で、香辛料を輸入していたヨーロッパと、香辛料の供給地であったアジア

問 8 下線部(6)に関連する以下の a ~ d 四つの出来事について、時代的に古いものから順に並んでいるものをア～エのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a トルデシリヤス条約によって、ポルトガルとスペインの勢力範囲が定められ、ブラジルはポルトガル領とされた。
- b スペイン女王イサベルの後援のもと、大西洋からアジアを目指したコロンブスが、カリブ諸島に到着した。
- c サラゴサ条約により、太平洋側にもポルトガル・スペインの勢力を分ける子午線が引かれた。
- d スペインのカルロス1世の支援を受け出航したマゼラン艦隊は、モルッカ諸島を経て初めて世界周航に成功し、世界球体説が実証された。

ア d—a—b—c

イ a—d—c—b

ウ d—b—a—c

エ b—a—d—c

問 9 下線部(7)に面していなかった国を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア スコットランド王国

イ プロイセン公国

ウ デンマーク王国

エ オランダ

問10 下線部(8)に関連して述べた以下の文のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アンボイナ事件で、イギリスはオランダによりモルッカ諸島から締め出され、インド方面に進出した。

イ フランス東インド会社はインドに進出し、ポンディシェリ・シャンデルナゴルを拠点としてイギリスに対抗した。

ウ スペインはリマを拠点に東インド貿易を展開した。

エ ポルトガルはマカオの居留権を得て、対明貿易を行った。

問11 下線部(9)に関して、グロティウスは「近代自然法の父」と呼ばれているが、自然法について述べた以下の文のうち正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 個人の経済的自由を重んじる、自由放任主義の思想に影響を及ぼした。
- イ 人間が生まれながらに持っている権利を保障する法という考えに発展した。
- ウ 個性や感情を重視し、歴史や民族文化の伝統を尊重する、ロマン主義に影響を及ぼした。
- エ 「最大多数の最大幸福」を掲げる功利主義へと発展した。

(Ⅲ) 東アジアにおける漢字の変遷に関するつぎの文章を読み、下記の問い合わせに答えよ。

漢字は、表意文字の一つとして古代中国でつくられた。その原型は、亀甲や獸骨に刻まれた 1 で、河南省の 2 から発見された。これは占いの内容を記したもので、象形文字に近い。漢字はその後、徐々に抽象度を加え、紀元前221年に 3 が天下を統一すると、各種通用していた全国の文字の統一が試みられた。異体の字は時代とともに減少し、木版印刷が広く普及するなど、印刷・出版文化が隆盛期を迎えた 4 時代以後、標準的な字体が広く使われていった。

中国の記録は基本的にこの漢字で書かれており、漢字は中国文化の不可欠の要素の一つと言えよう。しかし同時に、漢字はたとえばアルファベットなどと比べると煩雑で、種類が多く、また文を書くに際して各種の格式が要求されたため、文化の大衆化には阻害要因となる面もあった。1910年代に展開された 5 運動は、難解な文語体を平易な口語体に改める運動であったが、この時期に国字改良運動も進展した。中華人民共和国の成立後、簡体字とよばれる略字が制定され、教育を通して普及していく。漢字の音をアルファベットで表わす「ピンイン」も考案され、補助的に使われている。さらに、1966年からの 6 のなかでは、より大胆に簡略化した新字体も考案されたが、これは広く使われるには至らなかった。

漢字は中国内にとどまらず、日本、朝鮮、ベトナムなど周辺国家にも伝わり、
③使用された。

日本には当初、独自の文字ではなく、漢字の音を借りた万葉仮名が使われた。のちに漢字の一部から 7、草書体から 8 が考案され、日本語を自由に表記できるようになった。それ以降、仮名と漢字を併用した文体が長く使われて現在に至っている。近代に入ってからは、漢字廃止論の立場から仮名文字だけで文をつづったり、ローマ字専用論が唱えられることがあり、実際に戦後は漢字を独自に簡略化したり、使用範囲に制限を加えたりしたが、漢字自体が廃止されることとはなかった。

中国と地続きの朝鮮では、漢字は早くから伝わり、朝鮮文化の大重要な要素となつた。日本の万葉仮名と似た、吏讀という方式で朝鮮語が表記された時代もある。のちにハングルと呼ばれることになる固有の文字 9 の制定が A 世紀と遅かった理由には、それだけ漢字の占める位置が大きかつたことも挙げられよう。朝鮮ではその後も、正式な記録は漢文で書かれるのが通例で、たとえばのちに 10 とともに甲申政変を起こすことになる朴泳孝ら開化派のもとで、朝鮮最初の近代的新聞『漢城旬報』が出された際も、その文体は漢文であった。しかし、直後の 19 世紀末から 20 世紀に入ると、純ハングル文や漢字ハングル混じり文の新聞・雑誌も出版されるようになり、ハングルは朝鮮のナショナリズムの高揚とも相まって、急速にその地位を高めていった。日本による植民地統治の終焉後、まず朝鮮民主主義人民共和国では漢字が廃止され、韓国でも徐々に漢字が使われなくなり、ハングル専用の文体が一般的になつていった。

漢字はベトナムにも伝わり、漢字に基づいた独特の文字である 11 が発明されたが、19 世紀に 12 の植民地になってからはベトナム語のローマ字化が進み、この文字は廃れた。

以上の結果、歴史的に漢字が伝わった諸地域のうち、ある地域は漢字が日常から姿を消し、またある地域は簡略化された文字に変えられて、現在もともの正字(繁体字)を日常的に使用している地域は、13 などごくわずかにすぎない。しかし、ヨーロッパにおけるキリスト教のような共通の文化的土台が少ない東アジアにおける地域統合を考えるとき、漢字やそれに伴って導入された語彙はこの地域に共通する文化的な財産であり、一体感やコミュニケーションを図る手段として、その重要性を再評価する議論もおきている。

問 1 空欄 1 から 13 に当てはまる語句を、以下の語群からそれぞれ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

語 群

ア イギリス	イ 殷 墟	ウ 雲 崩
エ 沖 繩	オ オランダ	カ 片仮名
キ 金玉均	ク 訓民正音	ケ 元
コ 甲骨文字	サ 五・四	シ 国共合作
ス 秦	セ 神聖文字	ソ 前 漢
タ 宋	チ 大院君	ツ 台 湾
テ 中ソ論争	ト 字喃(チュノム)	ナ 陳独秀
ニ 白 話	ヌ 平仮名	ネ フランス
ノ 文化大革命	ハ モンゴル文字	ヒ モン文字
フ 竜 門		

問 2 空欄 A に当てはまる数字を、以下から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 10	イ 11	ウ 12
エ 13	オ 14	カ 15

問 3 下線部①の発見の年は、1899年である。以下の文化的な出来事のうち、この年にもっとも近いものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 北京にある圓明園が外国軍隊によって破壊された。
イ 魯迅はじめ、清朝の留学生が数多く日本に学びに来た。
ウ 魏源が『海国図志』を著わして、海防の必要性を唱えた。
エ 雑誌『新青年』が創刊され、新時代の息吹を伝えた。

問 4 下線部②に関連して、中国の漢字文化にかかわる以下の文のうち、正しいものはどれか。一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 清朝時代に編纂され、4万字を越す多数の字を収録した字典は、雍正帝の命令でつくられた。
- イ 最古の字書『説文解字』は、清代の考証学者段祺瑞によって詳細な注が施された。
- ウ 漢字はまた、書道という一つの芸術を産んだが、王羲之と顧愷之は中国を代表する書家として著名である。
- エ 16～17世紀に中国で活躍したイエズス会の宣教師たちも、本名以外に漢字で表記された名前をもっていた。

問 5 下線部③に関連して、次の文字のうち、作られ方や形態が漢字ともっとも縁遠いものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 滿州文字 イ 女真文字 ウ 契丹文字 エ 西夏文字

問 6 下線部④に関連して、以下の文の空欄 B C に当てはまる語句を考え、解答欄に書き入れなさい。

日本は韓国併合後、朝鮮語による新聞・雑誌の発行を大幅に制限したが、
B が起きると、この事件を統治者として総括して、一定程度の言論の自由を許す政策に転換した。その結果、現在も韓国で発行されている『東亜日報』『朝鮮日報』などの新聞が、1920年に漢字ハングル混じり文で創刊された。日本側はこの懷柔策を含む統治策を、それまでの武断政治と対比して
C 政治と呼んだ。

問 7 下線部⑤に関連して、アジアのナショナリズムや民族問題と関連する次の事項のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アジアでは 1964 年に日本、1988 年に韓国、2008 年に中国がそれぞれオリンピックを開催し、国威を発揚した。
- イ 中国は現在、漢族と 55 の少数民族からなる多民族国家であり、チベットやウイグルをはじめとする少数民族の反乱がときどきおきている。
- ウ 日本と韓国の間では、戦時下の従軍慰安婦をめぐる事実認定と補償問題が、1990 年代に入って焦点化した。
- エ インドネシアは、国内に数多くの民族や言語を抱えており、なかでもチェチェンの分離独立運動は現在も続いている。
- オ スリランカでは、宗教を異にするタミル人とシンハラとの間で、激しい対立抗争が長期にわたって続けられた。

問 8 下線部⑥にある日本の植民地統治が終わったあと、朝鮮半島で起きた次の出来事を発生順に並べたとき、古いものから 3 番目にあたるものを見いだし、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 南側に大韓民国、北側に朝鮮民主主義人民共和国が成立した。
- イ 日本と大韓民国との間に、国交正常化がなされた。
- ウ 軍人の朴正熙がクーデタを起こし、政権を掌握した。
- エ 民主化運動を推進した金大中が、大統領に就任した。
- オ 朝鮮半島で朝鮮戦争が勃発した。

問 9 下線部⑦に関連して、とくに東アジア 3 国の文化の共通の基盤に、秩序を重んじたり勤勉を旨とするある教えがあり、それが教育への熱意や経済発展にも有効に作用しているとする考え方がある。漢字と同様、古代中国に起源をもつこの教えは何と呼ばれるか。解答欄に漢字 2 文字で書き入れなさい。